



じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

2001年12月17日
NO. 30

発行責任者 橋 篤雄
TEL/FAX

〒891-4404 屋久町尾之間658-1
09974-7-3032 mokkuri@d1.dion.ne.jp
http://www.d1.dion.ne.jp/ mokkuri

「じゃがいものおうち」
TEL

〒891-4404 屋久町尾之間136-6
09974-7-3588

みんなが力を合わせれば...!!

皆さんお変わりありませんか、今年もあと少しですね。振り返れば恒例のじゃがいもの収穫、植え付け、ウコン掘り、お祭り出店、今年から始めたじゃがじゃが干恵袋、いろんな方々との交流会、キャンプに、全障研参加、とよく動きました。活動に参加して頂いた皆さん、はるばる遠くより来て頂いた講師の方、多くの御理解と協力頂いた方々、本当に有り難うございました。心より深く感謝致します。

さて11月より拠点を少し模様替えをしました。交流の場としての働きを充実させようと、地域のお年寄りも気軽に立ち寄ってお茶でも飲めるように、お休み処を試運転しました。また委託販売もやっております、その売り上げの一部は福祉充実のための援助に回ります。まだ試運転中で不備な点もありますが、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

療育部門も動き始めました、障害を持つ子供の可能性を伸ばす環境を作るためには、それぞれの機関が親身になり責任を分担し連係を取ることが大きな鍵となります。それには状況をまず知ってもらうことから始まるのではないかと思います。

来年はもっともっと忙しくなりそうです、お身体大切に良いお年をお迎え下さい。 (橋)

じゃがいもの生育状況

1月5日に多くの人の協力をもらって植え付けたじゃがいもも、その後の乾燥でなかなか芽が出ずいららさせられました。2日3割くらい芽が出たのを確認して一回目の培土をしました。種の不良のせいもあってか、植え直した人もあるくらい不作の年ですが何とか追いついてきました。

収穫の際にはまた皆さんの協力をお願いします。 (松田)



1月5日植え付けの日



12月10日の様子

療育教室お知らせとご案内

障害を持つと言うことは、それが重度であればあるほど、その子の将来を想い、より成長の発達を望める環境を考えるとやはり鹿児島に行くしかありません。なんとかこの屋久島で療育の場を作ると今療育の親の会を中心に、両町福祉課、保健所、県福祉課、保健婦さん等と話しを進めているところです。

まずは発達の可能性を伸ばす療育とは、なんぞや、離島での療育の場作りのお話を伺いたく、鹿児島子供療育センターの大迫先生と指宿療育親の会の立石さんに来て頂くことになりました。

今皆さんが抱えられている不安悩み等語りあってみましょう。 (橋)

日時：平成13年12月19日(水)

午前10時～12時	療育教室
午後12時～1時	昼食
午後1時～3時	大迫先生、立石先生の講演と交流会見
午後3時～5時	町の職員の方々との話し合い

*途中からの参加、部分参加も可能です。

場所：尾之間保健センター
お問い合わせ：尾之間診療所 7-3277
主催：親の会
共催：じゃがいものおうち

当日交通の便が無くお困りの方、お気軽にご相談下さい。

じゃがいものおうちに「お休み処」開設

訪れて下さる方が一息つける場所として、「お休み処」を開く運びになりました。おいしい珈琲、紅茶、お煎茶、抹茶、ジュース等準備しています。お菓子もあります。お休みは当分の間金曜日と土曜日です。営業時間はAM10:00～PM4:00です。

無農薬の珈琲、紅茶、お茶、抹茶、野菜、ウコン、花の苗、無公害石鹸多種、木工品の販売もしています。なお委託販売も受けますので、ご希望の方はお知らせ下さい。

「お休み処」を開くに当たり、たくさんの方々のあつい支援と協力をいただきました。深く感謝し、永く忘れずにいたいと思います。皆さんの気持ちが「お休み処」に反映し、暖かく問いのある場所になることを願っています。 (松本裕子)

委託販売もはじめました

11月からの喫茶部の試行と同時に、委託販売をはじめました。

環境に配慮したちょっとこだわりを持った品物を扱っていきたくと思っています。石鹸や無農薬の野菜や果物、紅茶、フェアトレードのコーヒーなど、販売価格のうち約2割は「じゃがいものおうち」の活動資金に充てさせていただきます。こんな物おいてほしいとか、こんないい物あるよとかの話持ち寄って、みんなで「じゃがいものおうち」を育てていただければと思っています。(松田)

今年もやるよ！もちつき大会

去年、はじめての試みとして行ったもちつき大会は大勢の参加でかけ声も勇ましくたのしい会になりました。つきたての「からみ餅」や「あんころ餅」の味は歳の瀬の風情を感じたひとこまでした。

今年も多くの方々の参加でじゃがいものおうち年内最後の行事をもちたてて下さい。尚、もちつき終了後おたのしみ会を行いますので、年末でお忙しいとは思いますが、こちらの方もご参加下さい。(四宮)

日時 12月30日(日) 午前9時より
午後5時頃まで
場所 じゃがいものおうち前

おもちをついてほしい人は、洗って一晩水につけたもち米を各自持参して下さい。

よもぎ、ごまなど入れたい方は材料をおもち下さい。

終了後、おたのしみ会

試食用のおもちはじゃがいものおうちでよういします。

つき手大歓迎です。

実感ではありませんか？手さぐりでやってきました拠点の運営もどうすればというのが、少しずつ見えてきたように思います。

そこで、来年度の総会は、昨年度に話し合ったように、皆さんがあつまりやすい時期と機会を考えて決めました。その日は、初仕事ととして、拠点のペンキ塗りを予定しておりますので、そのつもりの服装(汚れてもいい)で、軍手と弁当を用意してきてください。

「総会」と「新年会」を同時に行います

日時 2002年1月20日(日) 午前10時～

場所 じゃがいものおうち(拠点)

1年間の反省と次年度の役員改選や、年間の行事予定、気になる会計報告等、皆で検討しなければならない事が、多くあります。全員の出席をお願いします。
記 鈴木

(尾之間に引っ越しました)

屋久島へ通い始めて、13年目を迎えました。この間たくさんの人々と出会い、悲喜こもごもございましたが在職時、そこねました健康も何とか取り戻したことは、ありがたいことと思っております。

幸運なことに「じゃがいものおうち」の皆さんとめぐり会いましたことにより、生きることの再認識をさせられましたことに深く思いを致しております。

特に松田さんのご理解のもと、敷地内に家を建てさせていただき、地域のみなさまを含め、大変感謝いたしております。憧れの「モチヨム岳」のおひざもとで暮らせるなんてこんな素敵なことはないのではと思う今日このごろでございます。(小笠原)

編集後記

この度載せる事になりました？この号(30号)を作成するにあたり、サホ- 陸してくれたのは日高龍治君でした。(ありがとうございました)それではまた来年。
編集者：広啓

12月のじゃがじゃが千恵袋

今日はじゃがいものおうちでじゃがじゃが千恵袋があり、その中で宮之浦中学校の教頭先生とじゃがいものおうちの会員のみんなと一緒に、プランタ-置き台を作りました。

みんな楽しく、お話をしながら作っていました。

又、楯さんによると今日作ったプランタ-置き台は、いつか売るそうです。

又、別の話になりますが、役員さん達が話し合いの間子供4人組は、募金箱作りをしました。おつかれさ

までした。又、たくさん集まるとうれいすね。最後にみなさん、プランタ-置き台作り、おつかれさまでした。作品の前でみんなで記念撮影をしました。

又、講師として来て頂いた、教頭先生ご夫婦に厚くお礼申し上げます。(日高龍治)



- 新しい年に向かって -

しばらくぶりの通信の原稿で、少し緊張しながらかいております。

じゃがいものおうちの拠点ができて、2回目のお正月を迎えようとしております。

無我夢中でやった拠点作りが、ずいぶんと前のことのように感じております。皆さんは、いかがお過ごしでしたか？1年で短いなあというのが、